

彙報 (平成十二年度)

〔委員会〕

書陵部委員会 平成一三年三月一六日 開催 (於 書陵部庁舎)
 陵墓管理委員會議 平成一二年九月二〇日 開催 (於 書陵部庁舎)

(現地視察は不開催)

〔図書課関係〕

一 収書

(一) 購入図書

一部 一点

(二) 奇贈図書

二一部二五点

二 調査・整理

(一) 伏見宮楽書

七点

(二) 有栖川宮本

一、一七八点

(三) 新収本

一六三点

(四) 書陵部本蔵書印

五、九七〇点

(五) 新収本目録

(目録参照)

三 出版

『コロタイプ複製 花園院宸記 卷十七・十九』二卷 解説二冊

三月一七日刊行 (便利堂制作) 一〇〇部

(一〇〇部 思文閣出版市販)

〔図書寮叢刊 智仁親王詠草類 三〕 一冊

三五〇部

三月一九日刊行 (三五〇部明治書院市販)

〔図書寮叢刊 九条家本玉葉 七〕 一冊

三五〇部

三月二六日刊行 (三五〇部明治書院市販)

〔書陵部紀要 第五二号〕 一冊 一三〇〇部

四 複本作成

(一) マイクロ撮影

書陵部本

三〇〇フィート

東山御文庫本

二〇〇フィート

(二) 筆耕

〔栄華物語〕(国立歴史民俗博物館所蔵旧高松宮本)

六〇〇枚

五 小展示会

八件

六 調査

(都外) 京都御所東山御文庫 株式会社便利堂 京都府立総合資料

七 図書・公文書等

館 龍谷大学大宮図書館 財団法人下郷共済会 東北大学
 附属図書館 大阪市立大学学術情報総合センター

〔編修課関係〕

一 実録編修室

実録編修

(一) 計画概要

当課では昭和天皇実録の編修事業を平成二年度より開始し、現在も継続してこれを行っている。本事業の編修期間は、当初十六箇年計画であったが、その後、蒐集史料の増加等により編修期間を五箇年延長し、二十一箇年計画に変更した。本事業の終了は平成二十二年度の予定であり、平成十二年度は本事業の第十一年目に相当する。なお、併せて皇族実録の編修を続行している。

(二) 調査

〔都内〕 外務省外交史料館 防衛庁防衛研究所 国立国会図書館憲

政資料室 東京都公文書館ほか

〔都外〕 亀井温故館 南方熊楠記念館 南方熊楠邸 阪急学園池田

文庫 鈴木貫太郎記念館 盛岡市先人記念館 二戸市シビ

ックセンター田中館愛橘記念科学館 京都府立総合資料館

おぼろ月夜の館斑山文庫 長野県歴史館 山形県立図書館

県人文庫ほか

(三) 受入図書・資料

・刊本 一六六冊

・紙焼写真 一二件

・マイクロフィルム 一二件

二 皇室制度調査室

(一) 図書

閲覧 四九三人 五、三六二点

複写 一七四件 一、八一九点

展示出品 八件 五七点

掲載(含電子出版) 一一九件

テレビ放映・ビデオ 二〇件

貴重書複製 七七九点(目録参照)

(二) 公文書

閲覧 五件 二八冊

貸出 三四五件 七六二冊

(三) 図書館

貸出 二、二〇一冊

購入 一三八冊

寄贈その他 五八四冊

(四) 古文書修補

未整理本 六点 一、七九四点

既整理本 一五六点 三、〇〇四点

その他 二六三点

公文書製本 四〇一点

皇室制度史料編修

(一) 計画概要及び刊行

当課では、戦前の帝国学士院による『皇室制度史』編修事業を継承し、昭和五十二年より構想を新たに於て『皇室制度史料』の編修及び公刊事業を開始した。現在は、第一次編修事業(太上天皇編・摂政編・皇族編)及び第二次編修事業(后妃編)を経て、第三次編修事業(儀制編 誕生・成年式)を遂行している。この第三次編修事業は平成二十三年度に終了し、同二十二年度までは隔年に刊行を行う予定である。

平成十二年度には『皇室制度史料 儀制 誕生一』を刊行した(吉川弘文館、平成十三年三月三十日)。本冊の内容は、第一章総説、第二章着帯の儀である。

(二) 調査

(都内) 東京大学史料編纂所 国立公文書館内閣文庫 国立国会図書館古典籍資料室 無窮会図書館神習文庫ほか

(都外) 京都御所東山御文庫 陽明文庫 京都大学附属図書館 京都大学総合博物館 広島大学文学部 岡山大学附属図書館 国立歴史民俗博物館 東北大学附属図書館 塩竈神社 東大寺図書館 阪本龍門文庫 神奈川県立金沢文庫ほか

(三) 受入図書・資料

- ・ 刊本 九八冊
- ・ 紙焼写真 二八件
- ・ マイクロフィルム 一件

〔陵墓課関係〕

一 陵墓保全工事に伴う調査

(一) 事前調査 玉津陵墓参考地墳丘裾・外堤内法裾護岸工事以下 二件

(二) 立会調査 花園西陵見張所改築工事以下 二九件

二 陵墓地形図作成 二件

高島陵・大光明寺陵

三 出土品の調査・整理

(一) 新収出土品

玉津陵墓参考地出土品以下 三七六四点

(二) 出土品の鑑定

磐園陵墓参考地出土品 一件

(三) 復元修理

大市墓出土壺形埴輪、仁徳天皇陵出土須恵器大甕 二件

(四) 金属製品の保存処理 宇和奈邊陵墓参考地ろ号陪冢出土鉄鋌 五五点

同 右 出土錐形鉄製斧 一四〇点

(五) 模造品の製作

垂仁天皇皇后日葉酢媛命陵出土品(石膏模造) 二四点

四 墳丘調査

鳥戸野陵(三年計画三年目)

五 陵籍・墓籍の編修

後伏見天皇十七世皇孫女 百宮

後伏見天皇十七世皇孫女 繁宮

後伏見天皇十六世皇孫 邦頼親王

後伏見天皇十八世皇孫 普照院

後伏見天皇十八世皇孫 清觀院

後伏見天皇十八世皇孫 喜之宮

後伏見天皇十八世皇孫女 陳宮

後伏見天皇十八世皇孫 千嘉宮

後伏見天皇十八世皇孫 苞宮

後伏見天皇十八世皇孫女 和宮

允恭天皇(兆域の異動)

六 堂塔式陵墓の写真測量図の作成

後桃園天皇女御尊称皇太后維子 月輪陵 石造宝篋印塔 一基

七 陵墓石造物の緊急保存処理

聖徳太子 磯長墓 中段境界石(四年計画二年目) 一四五基

八 出版

『書陵部紀要所収 陵墓関係論文集 IV』

五月二五日刊行(学生社) 一、〇〇〇部

『山陵の遺宝』六版 六月三〇日刊行(毎日新聞社) 三、〇〇〇部

『山陵の遺宝』七版二月三〇日刊行(毎日新聞社) 二、九〇〇部

『埴輪 III』 二月二〇日刊行 一、〇〇〇部

九 資料提供

(一) 出土品

出陳 継続

東京国立博物館

常設展

四件

榎原考古学研究所附属博物館 常設展

日本金属学会付属金属博物館 常設展

国府町因幡万葉歴史館

新規

大分県立歴史博物館「古代王権への道―再発見九州

島」展

明治大学考古学博物館「壺から埴輪へ」展

榎原考古学研究所附属博物館「古墳時代の威儀具」

島根県立八雲立つ風土記の丘資料館「あなたの古代出

雲は?そして二一世紀へ」

熟覧・実測・撮影 四件

(二) 写真

掲載 二二件

頒布 一三件

(三) 地形図・遺構遺物実測図等

熟覧・実測・撮影 一件

掲載 三〇件

頒布 九件

一〇 展示会

『埴輪 III』 二月二八日～二月一日

〔書陵部所蔵資料一般利用規則〕

（適用範囲）

第一条 書陵部が保存する所蔵資料の一般の利用については、この規則の定めるところによる。

（所蔵資料の定義）

第二条 この規則において、「所蔵資料」とは、宮内庁文書管理規程（平成十三年宮内庁訓令第二号）第四八条の規定に基づき書陵部に移管された文書その他の歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料として書陵部において管理がされている文書をいう。

（所蔵資料の利用の方法）

第三条 所蔵資料は、次に掲げる方法により一般の利用に供する。

- 一 所蔵資料の閲覧
- 二 所蔵資料の複写

（利用の制限事項）

第四条 書陵部長は、所蔵資料が、次の各号のいずれかに該当するものである場合は、前条の規定にかかわらず当該所蔵資料の利用を制限することができる。

- 一 次に掲げる情報のいずれかが記録されているもの
- イ 個人に関する情報（事業を営む個人の当該事業に関する情報を除

く。）であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と照合することにより、特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）又は特定の個人を識別することはできないが、公にすることにより、なお個人の権利利益を害するおそれがあるもの。ただし、次に掲げる情報を除く。

- （一）法令の規定により又は慣行として公にされ、又は公にすることが予定されている情報
- （二）人の生命、健康、生活又は財産を保護するため、公にすることが必要であると認められる情報
- （三）当該個人が公務員（国家公務員法（昭和二十二年法律第二一〇号）第二条第一項に規定する国家公務員及び地方公務員法（昭和二十五年法律第二六一号）第二条に規定する地方公務員をいう。）である場合において、当該情報がその職務の遂行に係る情報であるときは、当該情報のうち、当該公務員の職及び当該職務遂行の内容に係る部分

ロ 法人その他の団体（国及び地方公共団体を除く。以下「法人等」という。）に関する情報又は事業を営む個人の当該事業に関する情報であつて、次に掲げるもの。ただし、人の生命、健康、生活又は財産を保護するため、公にすることが必要であると認められる情報を除く。

- （一）公にすることにより、当該法人等又は当該個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれのあるもの
- （二）行政機関の要請を受けて、公にしないと条件で任意に提供さ

れたものであって、法人等又は個人における通例として公にしないこととされているものその他の当該条件を付することが当該情報の性質、当時の状況等に照らして合理的であると認められるもの

ハ 公にすることにより、国の安全が害されるおそれ、他国若しくは国際機関との信頼関係が損なわれるおそれ又は他国若しくは国際機関との交渉上不利益を被るおそれがあると認めることにつき相当の理由があるもの

二 全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は法人等から寄贈又は寄託を受けているものであって、当該期間が経過していないもの

三 利用させることにより、破損又は汚損を生じるおそれがあるもの

四 宮内庁において現に使用されているもの（宮内庁における保存及び利用の開始のために必要な措置が行われているものを含む。）

（閲覧の申込み）

第五条 所蔵資料の閲覧を希望する者は、次に掲げる事項を記載した書面を書陵部長に提出して閲覧の申込みを行わなければならない。

一 申込者の氏名及び住所又は居所

二 所蔵資料の名称その他の閲覧の申込みに係る所蔵資料を特定するに足る事項

三 閲覧を希望する日及び時間（以下「閲覧希望日時」という。）

（閲覧に応じる旨の通知）

第六条 書陵部長は、前条の閲覧の申込みについて次条に該当する場合を除き、申込者に対し、閲覧に応じる旨を通知する。

（閲覧希望日時の調整）

第七条 申込者から第五条の閲覧の申込みがあった場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、書陵部長は、当該申込者に対し、閲覧希望日時を変更するよう通知することができる。

一 閲覧希望日時が、閉庁日等閲覧業務を実施することができない日時に当たるとき。

二 閲覧を希望する日が、書陵部長が当該閲覧の申込みを受け取った日から一〇日以内の日に当たるとき。

三 同じ時間帯を閲覧希望日時とする閲覧の申込みが多数重なる等のため、閲覧業務の適正な遂行に支障を生じるおそれがあるとき。

2 前項の場合において、申込者から、当該通知に応じて閲覧希望日時を新たな日時に変更する旨の意思表示があったときは、当該申込者から当該時点において新たな閲覧の申込みがあったものとして扱う。

3 当該閲覧の申込みに係る所蔵資料が第四条各号のいずれかに該当するときは、書陵部長は、当該申込者に対し、閲覧には応じられない旨を通知することができる。

（閲覧することができる所蔵資料の数）

第八条 書陵部長は、必要があると認めるときは、申込者が閲覧することができる所蔵資料の数を制限することができる。

(複写の申込み)

第九条 所蔵資料の複写を希望する者は、次に掲げる事項を記載した書面を書陵部長に提出して複写の申込みを行わなければならない。

- 一 申込者の氏名及び住所又は居所
- 二 所蔵資料の名称その他の申込みに係る所蔵資料を特定するに足りる事項
- 三 希望する複写の方法
- 四 複写の目的(出版、放映、頒布その他の具体的内容を示すことを要する。)

(複写に応じる旨の通知)

第一〇条 書陵部長は、前条の複写の申込みについて次条に該当する場合を除き、申込者に対し、複写の方法及び複写を行う場所を指定して、複写に応じる旨を通知する。

2 前項の通知を受けた申込者は、前項の書陵部長の指定に従い、複写を行うことができる。

3 複写に要する費用は、申込者が負担する。

(複写の制限)

第二一条 申込者から第九条の複写の申込みがあつた場合において、当該複写の申込みに係る所蔵資料が第四条各号のいずれかに該当するときは、書陵部長は、当該申込者に対し、複写には応じられない旨を通知することができる。

(職員の立会等)

第二二条 書陵部長は、所蔵資料の利用について、必要と認めるときは、次に掲げることを行うことができる。

- 一 書陵部の職員を立会わせる等の方法により、所蔵資料又は所蔵資料の複製物の保全のために必要な措置をとること。
- 二 利用のための場所を指定すること。
- 三 出版、放映、頒布等を目的とする利用について条件を付すこと。
- 四 迷惑行為その他により事務の遂行に支障をきたし、又は支障をきたすおそれがある者に対し、退去を命じ、又は立入りを拒否すること。
- 五 この規則若しくはその他の規則に違反し、又は書陵部長の指示に従わない者に対して、所蔵資料の利用を停止すること。

(所蔵資料の目録並びに一般の利用の方法及び期間の定め)の閲覧)

第二三条 書陵部長は、所蔵資料の目録の写し及びこの規則の写しを、書陵部庁舎において来訪者の閲覧に供する。

(その他必要な事項)

第二四条 この規則の実施について必要な事項は、書陵部長が定める。

附則

この規則は、平成十三年四月一日から施行する。

〔新収本目録〕

平成十一年四月から平成十三年三月まで、当部において整理した和漢圖書を収録。本紀要五十一号所収目録に続くものである。

総記	〇四〇 書誌	御書籍目録	御書籍目録	侍従封目録	引辰翰目録	辰翰目録	千辰翰目録	東山御文庫	勅封御物目録	神 祇	一〇四 法規	日吉垂迹事	一〇八 神事	石清水臨時祭略次第	祇園神輿通路勘例	祈年穀次第	祈年穀奉幣定次第	祈年穀奉幣定次第
員数	函	号	頁数	函	号	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊
一冊	三六〇	三六〇	三六〇	四七八	四七八	四七八	四七八	四七八	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇
一冊	三六一	三六一	三六一	四七八	四七八	四七八	四七八	四七八	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇
三冊	三六〇	三六〇	三六〇	四七八	四七八	四七八	四七八	四七八	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇
一冊	四七八	四七八	四七八	四七八	四七八	四七八	四七八	四七八	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇
四冊	五四八	五四八	五四八	五四八	五四八	五四八	五四八	五四八	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇
一冊	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇
三冊	五四九	五四九	五四九	五四九	五四九	五四九	五四九	五四九	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇
五冊	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一	六二一
祈年穀奉幣次第 (首欠)	祈年穀奉幣次第 当日儀	神宮遷宮延引例 付	臨時祭次第	臨時祭略次第	仏教	一八〇 概説 雑書	尊像尊牌拜見調査録 外崎覚編	尊像尊牌併合ノ沿革 外崎覚編	教育	一八〇 総説 雑書	御進構案 大正一三年、昭和五年草案 三上參次進講	和歌 連歌	二二一 御集	詠七夕惜別和歌御懷紙 伝正親町天皇	後西天皇宸翰御懷紙 付旧包紙(二枚)	明治天皇御製 明治天皇御詠	明治天皇御製 昭憲皇太后御歌	靈元天皇宸翰御懷紙 付旧包紙(三枚) 貞享三、享保一六
南北朝写(九)	南北朝写(九)	天照皇太神宮豊受大神宮 正遷宮并仮殿遷宮之次第 室町写(九)	南北朝写(九)	南北朝写(九)	南北朝写(九)	昭和三・三(臨帝) タイプ	昭和三・三(臨帝) タイプ	昭和三・三(臨帝) タイプ	昭和三・三(臨帝) タイプ	大正一三年、昭和五年草案 三上參次進講	大正一三年、昭和五年草案 三上參次進講	大正一三年、昭和五年草案 三上參次進講	大正一三年、昭和五年草案 三上參次進講	伝正親町天皇 伝宸筆(有栖)	付旧包紙(二枚) 宸筆原本(有栖)	明治天皇御詠 大正期写(臨帝) 一〇七冊	大正八・一〇写(臨帝) 一冊	付旧包紙(三枚) 貞享三、享保一六 宸筆原本(有栖) 三二八枚
一帖	一帖	一卷	一卷	一卷	一卷	一冊	一冊	一冊	一冊	五冊	五冊	五冊	五冊	一枚	四枚	一冊	一冊	有栖
九五一九一	明 五二八	九 三九四	九 三八九	九 三九〇	九 三九〇	明 五七七	明 五七七	明 五七六	明 五七六	明 三二五	明 三二五	明 三二五	明 三二五	有栖 三	有栖 一	明 八八七	明 九〇一	有栖 二

二二二 勅撰集

新勅撰和歌集 藤原定家奉勅撰

室町写 一冊 一五二 四一九

音楽

三二五 雅楽

二二三 家集

音仁親王御懷紙 延享二(宝曆五)
(有欠年)

御筆原本(有栖) 一八枚 有栖 七

織仁親王御懷紙 明和二(享和二)
(有欠年) 付懷紙書様(二枚)

御筆原本(有栖) 一七四枚 有栖 八

織仁親王御懷紙 文政七(明治一五)
付旧包紙(一枚)

御筆原本(有栖) 二四四枚 有栖 一〇

威仁親王御懷紙 明治三・三九

御筆原本(有栖) 二枚 有栖 一二

正仁親王御懷紙 宝永三(正徳五)
(有欠年)

御筆原本(有栖) 二六冊 有栖 五

熾仁親王御懷紙 嘉永四(元治一)
(有欠年)

御筆原本(有栖) 一〇五枚 有栖 一一

韶仁親王御懷紙 寛政頃(弘化二)
(有欠年) 付手習紙(一枚)

御筆原本(有栖) 二二二枚 有栖 九

桂宮智仁親王詠草

御筆原本(桂) 七五冊 F四 一九七

幸仁親王御懷紙 寛文九、一〇、一二

御筆原本(桂) 三枚 有栖 四

職仁親王御懷紙 享保八、明和五

御筆原本(有栖) 三九四枚 有栖 六

二二四 撰集 御会

春日社御法衆和歌 貞享五・二・一〇
翌元上皇御夢想

九条輔実筆(九) 一袋 九 一五〇六

大婚廿五年盛典奉賀詠進歌 明治二七昭和三・八写(臨帝)

一冊 明 五八二

支那文学

二六一 詩文合集

雜抄 卷一四

平安写(伏) 一帖 伏 二〇三六

書画

三二〇 概説 雜書

京都常御殿御間杉戸画工書類

明治三三写(管) 二六通 二二八 三二〇

東宮御殿御絵付 付包紙(一枚)

明治写(管) 一冊 二二八 二九二

御遊 丘秋自筆之記抜得

江戸写(伏) 一卷 伏 三〇〇六

新撰楽譜 横笛三

室町写(伏) 一卷 伏 一一〇〇

大食調曲譜 笙 一名 鳳凰管鈔 豊原兼秋撰

嘉曆二(一一) 滑川写(伏) 一卷 伏 一一〇一

珍楽類 笙・笛譜

室町写(伏) 一卷 伏 一一〇二

手撥合伝授状 建久五 妙音院尼授・藤原定輔受

原本(伏) 一卷 伏 一一〇三

琵琶血脈 書きさし

室町写(伏) 一卷 伏 三〇〇七

風俗歌譜

室町写(伏) 一卷 伏 一二〇四

三四四 図案

明治天皇御制定馬術章

大正九・六写(臨帝) 一冊 明 八九三

諸芸

三六〇 総説 雜書

江戸写(管) 一冊 二二八 三九二

修学院御茶屋記 文政七

三七一 庭園 盆栽

明治二八(管) 一冊 二二八 二五一

新宿植物御苑記 莊原和著

歴史及伝記 四〇四 年表

皇居御造営及御炎上摘録

明治作(管) 一冊 二二八 三九一

内裡御造営及御炎上年月表

明治三五・四作(管) 一冊 二二八 二四七

年表稿本 嘉永五・四(大正元・一一) 臨時帝室編修局編

大正六・九作 一七冊 二五〇 二六〇

日本史

四一〇 概説 雜書

京都御所東山御文庫御物写 大正一三写(臨帝) 一冊 明 一八八

四一三 雜史 実録

神皇正統記 卷上 北畠親房著 大永七・八写 一冊 五〇九 一〇二
水谷川本 祝尊海

天皇皇族実録 神武孝明 圖書寮編 昭和六・三二 二八六冊 五六五 一

四一五 記録

兼晴公記 万治三延宝四有欠 九条兼晴記 自筆原本(九) 一九冊 九 五一八五

後崇光院親王宣下事 室町写 一通 B六 八二二

侍従長徳大寺実則日記 明治一八(大正三) 一〇冊 明 六六九
一名徳大寺実則日記 大正九・五写(臨帝)

侍従長徳大寺実則日記抄 明治一八(二八) 徳大寺実則記大正写(臨帝) 一冊 明 六六八
一名徳大寺実則日記抄

修学院御幸録拔萃 文政五(七) 一冊 明 四〇二

修学院御幸書 文政六(七) 一冊 明 三九八

修学院行幸記 文政七 一冊 明 二五〇

修学院御幸文政年度雜記 文政七 一冊 明 二一八 四〇〇

長秋記 天永四・正一〇 元永二・四(七) 一冊 九 五一八六
一名師時御記 源師時記 鎌倉写(九)

長秋記 大治二(保延元) 源師時記 藤原定家筆写 二二卷 五五三 一九

儲君親王御日記 万延元(慶応二抄) 大正七・一〇写(臨帝) 一冊 明 六二二

儲君親王祗候備忘 文久二(慶応元) 石野基安記 昭和写(臨帝) 一冊 明 六二四

徳大寺実則日記 嘉永四(大正八) 徳大寺実則記 自筆原本 四〇冊 C一 一四九

平兵部記 保元四(仁安三) 平信範記 藤原定家等写 一四卷 五五三 二〇

四一六 古文書

伊藤公書簡 田中光頭宛 大正力写(臨帝) 一冊 明 三八
田中伯爵家所藏

岩倉家文書 補遺共 昭和力写(臨帝) 一三冊 明 一〇

京都御所御文庫御物文書写 五六点 大正一三写(臨帝) 一冊 明 一九八

九条尚実書状 陰陽頭宛 九条尚実記 自筆原本 一通 B六 八二三

黒田伯爵家文書 大正一三・六(臨帝) 二一冊 明 二二九

参考史料調査控 明治一五(三一) 深谷博治編 昭和(臨帝) 三冊 明 四二四
三条家以下諸家文書 タイプ(臨帝)

寺内伯爵家文書 昭和二(七) 七冊 明 六三九

東山天皇女房奉書写 中院通茂家領加贈事 江戸写(九) 一通 九 一〇〇〇

土方久元関係文書 明治二(三) 昭和一三・九(臨帝) 一冊 明 七七七

山原公爵家文書 明治三二(四) 諸家書簡等 昭和六・七(臨帝) 七冊 明 九四二

山原公爵家文書 明治二(四) 諸家書簡等 昭和六・七(臨帝) 一五冊 明 九四三

伝記

四三二 人名辞書

皇親稱謂索引 一上・二 昭和四・二(臨帝) 三冊 明 二七二

四三三 年譜

明治天皇御事歴年譜資料 臨時帝室編修局編 大正写(臨帝) 一冊 明 八六七

四三四 系譜 家伝

皇統譜録 明治二四(四四) 圖書寮編 大正写(臨帝) 四冊 明 二九九

皇統譜抄 昭和写(臨帝) 一冊 明 三〇〇

御系譜 皇室 親王家 圖書寮編 原本(臨帝) 一冊 明 三二九

諸家系譜 江戸・明治期 大正・昭和頃写(臨帝) 九冊 明 五二五

堀田家系譜 佐倉 大正一三写(臨帝) 一冊 明 八四四

四三五 叢伝

華族履歴 一、四 宗秩寮蔵 昭和二写(臨帝) 四冊 明 一五八

皇族王公家履歴 昭和二、三(臨帝) 一冊 明 二八八

四三六 各伝

賢宮益子内親王御由緒書控 享保二 二冊 九 一五〇四

賢宮益子内親王御由緒書控 享保一〇 享保一〇作(九) 一冊 九 一五〇二

賢宮益子内親王御由緒書類 元禄七、一五 宝永七 六點 九 一五〇五

金子子爵謹話 大正一三・三・一八金子堅太郎談 大正一三(臨帝) 一冊 明 一〇一六

昭憲皇太后御事歴綱要 大正・昭和写(臨帝) 一冊 明 五〇七

中宮寺宮尊秀有栖川宮正仁親王御由緒下書 宝永七作(九) 二通 九 一〇〇〇一

四三七 名鑑 補任 明鑑 分限帳

有爵者名簿 明治一七、三二 大正一一写(臨帝) 一冊 明 九五七

四三九 陵墓

考証録 明治四、大正六(有欠年) 諸陵寮・諸陵寮出張所編 大正一三写(陵) 一九冊 一六八 三九九

上奏書類綴抄 陵墓関係 諸陵寮編 昭和九写(陵) 一冊 一六八 三九八

桃山御陵諸門通行徽章 見本 大正、昭和作 一帖 一六八 六九四

地誌及紀行

四五四 地図

恭礼門院御旧地地坪之図 彩色 明治写(管) 一鋪 二二八 三七八

法律及政治

五〇〇 総説 雑書

宮内省調査課書類目録 大正写(臨帝) 一冊 明 二三四

寺内統監上奏書 明治四〇・八 昭和(臨帝) 一冊 明 六三八

秘書類纂 明治原本写本 二六冊 六〇〇 一

内閣機密公信目録 明治一五、一八 大正写(臨帝) 一冊 明 六七六

古代法制

五二〇 概説 雑書 陰陽博士安倍孝重勸進記 (有欠) 承元四・九・五 原本(伏) 五帖 伏 二〇三五

五二三 法規 祭主注進物忌令 付北山抄抄出 室町写(九) 一卷 九 三九五

五二五 年中行事 除目叙位僧事小折紙等控 寛文二・二 寛文二作(九) 一綴 九 一〇〇二

五一六 臨時儀式 九条輔実元服関係書類 付各包紙(四枚) 延宝三、一一 九条兼晴等筆(九) 八點 九 一〇〇三

御元服由奉幣次第 九条輔実筆(九) 一通 九 一〇〇七

御即位式絵図 明治三三 彩色(管) 一鋪 二二八 二九六

御即位式鋪設図 明治三三 彩色(管) 一鋪 二二八 二九七

明治大嘗会記 付大嘗宮御櫛地割惣図 大正一〇・二・四写(臨帝) 二冊 明 五八三

着袴并深削之略次第 草稿 九条輔実筆(九) 一通 九 一〇〇四

紹仁親王親王宣下関係書類 九条道房筆(九) 二点 九 一〇〇五

天皇立親王例諸記録所在目録 九条輔実力写(九) 一通 九 一〇〇六

五一七 有職故実

輕服人從神事例 鎌倉写(九) 一卷 九 三九三

御元服御行粧 享保一六・二・一三三 九条植基 一冊 九 一五〇三

西園寺家車図 一名車図

慶長六・四写(九
彩色)

一卷 九 三八七

紫宸殿清涼殿御装束

大正・昭和写(臨帝)

一冊 明 四八五

染装束

寛永三・正等写

一冊 一七二 二〇七

近代法制

五二〇 皇室制度 附 貴族制度

御璽国璽二関スル参考書

内大臣府蔵 大正カ写(臨帝)

一冊 明 二〇二

皇居沿革稿

勢多章甫著 大正七写(管
昭和一五校)

一冊 二一八 二五二

皇居沿革表

勢多章甫著 大正七写(管)

一冊 二一八 二五三

皇室婚嫁令並附式

大正一〇・九写(臨帝)

一冊 明 二九一

皇室誕生令並附式

明治三五・五・二九 大正八・二写(臨帝)

一冊 明 二九二

桜井家文書

昭和三七写(臨帝)

二冊 明 四一一

昭和大礼記録

内閣大礼記録編纂委員会編 昭和四〇六活

八四冊 四六四 一

昭和大礼記録

内閣大礼記録編纂委員会編 昭和四〇六活

八二冊 四六三 二

諸願建白書 抜粹

大正七・二写(臨帝)

一冊 明 五〇一

大正大礼記録

大正四目錄共 大礼記録編纂委員会編 原本一四六冊

E 一 三三

田中光顕伯謹話

大正五・四・四 田中光顯述

一冊 明 五九七

臨時帝室編修官出張報告

大正一二 本居清造等記(臨帝)

四二冊 明 五二九

五三〇 国法及憲法

内大臣府文書 国憲草按

大正一四・三(臨帝)
タイブ

一冊 明 六九一

産業

六五〇 総説 雑書

明治一八年 米国産馬二就テノ報告
欧米出張中

藤波言忠記
大正九・五写(臨帝)

一冊 明 八一四

理学

七一三 天文 曆

家秘要録 天変地妖之勘草
永享く慶長 裏文書共

昭和三七・三八
影写

八冊 二七六 六六二

工学

七六一 土木

皇居内半蔵濠沿い石復垣修工事
に伴う文化財調査報告書

宮内庁管理部編

平成二・三

一冊 A 一 一八五二

東山御文庫本

飛鳥井勳物

一通 二〇六

四 五四六

飛鳥井雅威書状並意見書

一通 二〇六

六 五四六

飛鳥井雅威書状並講師勘例

一通 二〇六

五 五四六

飛鳥井雅光披露状 付講師相伝書類

一通 二〇六

五 五四六

一条内房披露状 付勘例

一通 二〇六

九 五四六

押小路師庸勘例

一通 二〇六

二 五四六

歌集御目錄

一通 二〇六

四 五四六

華族中将兼中宮権亮例

一通 二〇六

三 五四六

烏丸光祖言上書等

五通 二〇六

七 五四六

烏丸光祖書状

一通 二〇六

五 五四六

烏丸光祖披露状

一通 二〇六

二 五四六

菅家六十四代之内経儒官任参議勘例

一通 二〇六

三 五四六

愚管鈔	一卷	三〇・六	八八	五〇七	重服中任槐之例	一綴	三〇・六	五〇六
公卿已後舞之事	一通	三〇・七	三	五〇六	上階年中任參議例	一通	三〇・七	三〇六
車繪圖	二卷	三〇・三	四六	五〇七	裝束鈔	一卷	三〇・三	三二
藏人藏人頭補任何	三通	三〇・七	五	五〇六	小右記 長徳元年自七月至二月	一卷	三〇・五	一七
藏人頭近代叙任何	一綴	三〇・七	七	五〇六	心喪之中不歌笛例	一通	三〇・六	三
不補藏人頭以前叙正四位上例	一綴	三〇・七	六	五〇六				
補藏人頭勘例	一綴	三〇・七	一八	五〇六	大政大臣西園寺公守上表写	一卷	三〇・三	六
藏人頭任參議例	一綴	三〇・七	一〇	五〇六	常子内親王御懷紙写	一通	三〇・六	四
雖下藤加藤字例	一通	三〇・七	三	五〇六	東宮行啓雜事記	一卷	三〇・三	六
五位藏人一人例	二点	三〇・七	一一	五〇六	補頭年中任參議例	一通	三〇・七	三
講師教訓相伝事請文	一通	三〇・九	二	五〇六				
講師事勘例	二通	三〇・九	四	五〇六	中院通古演說書	一通	三〇・九	四
後白河院東山御所御移徒記 永曆二四	一卷	三〇・七	一一	五〇六	中院通古言上書	一通	三〇・九	二
閤(爾之近衛方一二三階上首弁方補頭例	一綴	三〇・七	八	五〇六				
冊命皇后式	一卷	三〇・三	一六	五〇六	非職雲客位階超藏人頭例	一綴	三〇・七	九
山槐記 治承二・一〇・一一	二卷	三〇・六	六〇	五〇六	日野家勸修寺家儀同之孫藏人以前著禁色等例	一通	三〇・七	四
三条西延季披露状 付実隆公記拔書	一通	三〇・六	三	五〇六	服暇等之間叙位例	一通	三〇・六	四
四位五位問頭近例	一通	三〇・七	三	五〇六	舞踏作法	一通	三〇・七	四
四位五位問頭之例	二通	三〇・七	四	五〇六	平戸記 仁治三三	一卷	三〇・五	四〇
四ヶ月五ヶ月除服先例	一通	三〇・六	二	五〇六	保元四年七月之記	一卷	三〇・六	一三
氏名未詳内奏状	一通	三〇・六	三	五〇六	光栄公記拔書 享保	一通	三〇・六	二
重服中叙位例	一通	三〇・六	二	五〇六	壬生季連勘例	一通	三〇・六	二

名家輩相竝之時超越上臈任何例

一通 三〇七・二 四四六

大常博士楊真操 南北朝写 一卷 九八五 四五二九

葉禪記 宝治元・一〇・一一

一卷 三〇三 三六 四四六

大乘布薩説戒 平安写 一卷 五五六 一五 五三六

諒闇一期中官幣諸祭勘例

一通 三〇六・七 七 四四六

代々天皇御在位期間覚書 (前欠) 後宇多 後水尾院 江戶写 一册 三二二 九 五三七

兩頭之間超越羽林方上首弁方叙位例

一通 三〇七 四 四四六

大通院荣仁親王御返答状写 雲客所作事(中欠) 貞敦親王御筆 永祿九 江戶写 一卷 七二三 八 五三四

靈元天皇御覚書

一通 三〇七 二 四四六

大納言物語 文化一〇写 革舎主人 一册 三五一 二〇 四四一

靈元天皇女房奉書案

二通 三〇七・三 四 四四六

代始和抄 合綴 大禮大祀抄 一条兼良 文明一〇 江戶写 一册 三四一 四四 五三七

大学鈔 一名 大学啓蒙講筵草 秋潤一編

一册 一一〇 九七 五〇五

大般若經開法 六卷 付 高島式部書簡一折 宋 淳熙版 高山西印 二帖 五五六 一五 五三六

大記 三、四 藤原為房

写 三二五 三四 五〇三

大般若波羅密多經 卷一〇五 唐 釈 玄奘訳 鎌倉写 一册 五一一 二四 五四四

体源鈔 目錄のみ 豊原統秋編 永正九

内册 九一七 一四 五二八

太平寰宇記 零本 宋 樂史 宋紹興一七版 金沢文庫印 二册 五五八 七 七〇 五二六

醍醐根本僧正聖宝略伝 一名 聖宝僧正伝

一册 三〇七 三三 五三七

待聘密議 韓使迎待事件 古賀燈 写 一册 二〇四 三 三七 五三六

醍醐寺雜事記 寛平九 天承元(有欠)

一册 三〇七 三三 五三七

内裏院中奉書案 寛文九 一二 寛文写 二册 二九五 一五 五二六

醍醐寺雜事記 首欠

一册 三〇七 三三 五三七

内裏儀式 残欠 慶応二写 一册 二二〇 二六 五三九

醍醐寺法流相承系図 醍醐寺 金剛王院 三寶院

一卷 三三七 四〇 五三九

内裏御会和歌 元文六(六箇度) 桜町天皇等 江戶写 一册 八三 三六 四四六

泰山書籍目錄

延慶二原本 写 三〇七 三三 五三七

大禮御服装調書 大禮記録編輯委員會編 原本 一册 一七〇 三三 五三〇

待需抄 目錄 石井行豊

江戶写 二六六 一四 五〇四

大禮用女裝服制調書 宮内省 大正三 大正写 一册 一七三 三九 五〇六

待需抄 一 伊勢物語

江戶写 二六六 一四 五〇四

多賀書目録 多賀常政 寛政五写 一册 二〇六 七一 五〇七

大常博士楊真操

崇光天皇宸筆 永和四 九六六 四 五二九

應司家判物類 天正五 明治三 原本(江戶末) 一册 七七八 四一 五〇七

鷹司政通秘書目録	鷹司政通	文政二自筆	一冊	五五一	二九 五九七	合綴 仙洞三席御会記(応永一九・二・九)	大永四 元長写	一冊	四〇七	四〇 五三三
鷹司迪丸輔著袴等次第	嘉永七 付図	写	一冊	二六五	二三 五八六	中内記 久安五・七・藤原宗能	写	二冊	三五〇	一〇 五九三
鷹書	吉田流 吉田多右衛門尉	写	二冊	一九三	一一一 五三九	中右記 裏文世のみ	鎌倉写	二卷	F八〇	一二四 五八七
鷹百首註	西園寺公経	江戸写	一冊	一五二	一七 五八九	中右記部類 紙背のみ 藤原宗忠	鎌倉写	一卷	四一〇	二五 五三〇
他行時入用物控		写	一卷	七二七	四 五四〇	重長州県志 明皇甫訪 張鳳翼等重修	明万曆二六版	二冊	四〇二	一二七 五三六
啄木調	栄仁親王御筆 応永二三	一巻	九六九	四 五二九	著述書目	写	一冊	一〇三	一〇六 五九八	
啄木調	三通 崇光天皇 西園寺実兼等	原本	九七〇	六 五二九	椿亭叢書 第七冊 越智直澄	写	一冊	一〇三	五三 五五五	
啄木調		藤原孝秀筆 弘安一〇	九八六	五 五二九	椿葉記 草稿本(有欠) 貞成親王	御筆	一卷	伏	五七 五四一	
匡遠宿祢記	建武二、四 暦応元、二 小槻匡遠	自筆	F九〇	八五 五〇五	通憲入道書目録(有欠)	御筆	一卷	伏	一〇七 五四一	
匡遠宿祢記	後光厳院踐祚記 小槻匡遠	室町写	F一〇〇	一二 五〇五	通志(二〇〇卷目一卷 有欠)	鎌倉写	一卷	五〇一	一四 五三九	
七夕の草紙		江戸写	八六八	三九 五〇五	通要古紙 卷六(一〇 康長)	天明三写	一冊	七八	六一 五〇五	
谷森種松諸陵注進案	文久三 付勘録之図	一冊	八三四	二四 五三六	紹仁親王御元服次第 付指図	江戸写	二冊	二〇八	八 五〇六	
為兼為相等書状並案	勅撰集事 京極為兼等 (五通)	鎌倉 原本写本	七四〇	一五 五〇〇	造菓子図	写	一冊	七〇八	六九 五三四	
綾平緒勘文並繡下絵		写	二六五	一〇 五三三	津津留歌 古今集(新統古今集)	中御門天皇宸筆	二冊	八一	七一 五三〇	
親長卿記	抄出 文明四、八、一六 延徳四、明応二 (並消息類)	室町写	二六六	一〇 五二七	堤中納言物語	文化三写 清水浜臣	一冊	一五四	七二 五三〇	
親長卿記	文明二 甘露寺親長	葉室頼重写	一八五	一七 六一	堤中納言物語	江戸写	二冊	四七九	一三三 五三三	
竹園抄		文明一五写	九七	三五 五三三	堤中納言物語	江戸写	二冊	四九	一三一 五三三	
有職千くさの錦 目録		写	E二七	二七 五三七	端紅扇泥絵之事	写	三枚	二六三	九 五三三	
中宮寺縁起(首欠) 文永一一	崇光天皇宸筆	一巻	三六四	六 五三六	爪調	南北朝写	一卷	九八七	六 五二九	
中宮寺宮内親王御代々記	合綴 中条氏旧記抜書 大正一五写	一冊	一七二	一五 五〇六	帝国憲法ニ関シ欧米人ノ意見上奏頭末	金子堅太郎 昭和五	一冊	六二八	九 五三〇	
中宮欣子内親王女房銷子雑用留	岡本銷子 文化一三、一四 自筆	一冊	四三三	三〇 五四七	手撥合 三曲並滑調	藤原孝秀筆 弘安九	一卷	九八八	一二 五二九	
中州集	目一卷 付采府 金元好問	元延祐二版	一〇冊	一〇四						
中殿御会記	建保六(有欠)(裏文世) 時経魚藏之什断簡等			三七八 五三一						

手撥合 隆漏流	貞治元 崇光天皇写	一冊	二〇二六	三〇	三五六	当代江都百化物 馬場文助	嘉永三写	一冊	二〇九	三五三四
天仁遠波抄出	嘉永五写 應司政通	一冊	二六六	二二	三三四	東大寺八幡宮袍等図	(彩色)写	一冊	九六	一五五三
手爾葉集	安政二写 應司政通	一冊	三九六	三八	三三四	時範記 永長二年冬上 平時範	鎌倉写	一冊	九	二六五三
出葉伝授 一三卷 付親句陳句の事等	寛保二写 直倫	一冊	七五〇	五二	三三四	徳川將軍著用御服文様図 文政二〜天保二	写	二冊	B三六 三二七	一一四 三三二
天爾葉之大事 姉小路式	宝曆六写 巖井田尚友	一冊	四二六	二四	三三四	智仁親王詠草 慶長九〜元和八	江戸写	二冊	三五三	一一九 三三六
手似葉秘伝集	江戸写	一冊	二九〇	四一	三三四	智仁親王詠草 慶長〜元和	御筆	二冊	一五〇二	一四九 三三六
伝奇四十種 八四卷(有落丁)	明版	八冊	二一三	九リール	三三四	俊頼口伝集 上下 源俊頼	写	二冊	二七五	一二六 五二三
殿上淵辭部類記 (長元四〜元亨三 綾小路敦有 有欠)	延徳三写 三条西実隆	一冊	四一五	五七	三三五	豊城入彦命彦狭嶋命御陵取調私議書 明治二六	明治写	一冊	一六八	二六 五〇八
天皇御元服次第 (至徳四 後小松天皇 裏) 永正一〇具注曆(有欠)	永正一写 持明院基春写	一冊	三三〇	三三	三三六	内宮伊雜宮記	写	一冊	二八〇	九 三二六
天皇御元服諸例 清和〜称光天皇	江戸写	一冊	六三七	二六	三三六	内宮伊雜宮言上	小槻重房写	一冊	F一〇	六三 三三四
天養度革命諸道勘文 (裏) 消息	三条西実隆写	一冊	二八五	五九	三三〇	内侍所御神楽記 曆成元〜応永四(有欠) 綾小路敦有 有欠	写	一冊	四一五	八九 三二七
侘庵集 稿本 古賀燧	写	五冊	一六三	二六	三三三	南越陣記 一〜五 旭桜雜誌	明治写	三冊	四一五	四八三 三〇八
侘庵秘集 稿本 古賀燧	写	二冊	一六六	一四	三三七	南陽叢書 二八、三二、三三 賀川秀益	写	三冊	一〇三	一五五 三〇六
桃花薬葉 一条兼良 合綴名目抄 胡曹抄	寛政八写	一冊	二二六	九三	三三三	新山莊輔談話筆記 新山莊輔 昭和二	昭和タイフ	一冊	一〇五	一九 三三七
東宮御元服勘例 寛仁〜建治	元徳元原本	一冊	七七八	一一	三三〇	二十一代集 第三、八、二七、三四冊	江戸写	三冊	四〇三	五五九 三三三
東宮御元服日記 享保一六〜明和五 昭仁 英仁親王	平田職甫 自筆	二冊	一〇九	九三	三三三	日光祭礼之図	原本	三冊	七	五三七 三〇五
東宮御元服部類記	南北朝写	六卷	六三二	一一	二四八〇	日本憲法制定の由来 明治四四 金子堅太郎	昭和四タイフ	一冊	七	三〇 三三〇
東齋隨筆 一条兼良	江戸写	一冊	五〇二	三四	三三二	日本三代実録 藤原時平等	江戸写	七冊	三二六	五六三 三二四
東西本願寺本庶申立一件書類 嘉永元	写	三枚	二六五	二〇	三三三	日本文徳天皇実録 一名 文徳実録 三条西実隆本 藤原基経等	江戸写	二冊	三五五	一一一 三二四
藤氏系図 (裏) 明応三年具注曆	(江戸朱書懸)	一冊	四一	二二	三三九	入衆須知 「金地院」印 未版	江戸写	一冊	九五	五三 三三三
東寺塔供養記 一名 建武元年日記 建武元・八〜一二	写	一冊	二三五	六七	三三二	女房衣色色 一条兼良	江戸写	一冊	一〇四	一五 三〇六
道蔵経 第三五九函〜第三八八函	明版 (部分)	一冊	四六〇	二〇	三三七					
道蔵経 第四七函 周氏冥通記	複製本	一冊	四六〇	一一	三三〇					

女房奉書	室町原本	一卷	七三七	二五〇〇	橋本実梁江戸府鎮台補御用中雜記	慶応四	自筆	一冊	七五三	一五五〇〇
女王記	室町写	一卷	五〇二	九五八六	橋本実梁等詠歌短冊 一四葉	自筆	一帖	三五三	一〇五三	
女王表著並櫛之図	江戸写	一卷	B七 六八	四三三	橋本実梁和歌懷紙並折紙	自筆	四卷	B六 三五九	二六五三	
年中行事 御障子本	写	一冊	二七六	二一五三	橋本実梁度会府県知事在勤中諸記	慶応四、明治三	写	七冊	七八四	五九六
年中行事裏書 次第書	写	一冊	二七七	五七五三	橋本実麗子大患凶事諸雜事	明治二	写	一冊	三五三	五三三
年中行事秘鈔 近代	写	二冊	二三四	一四三三	長谷寺縁起繪卷詞書	尾欠	写	一卷	三六七	一一一
年中行事秘抄 中原流	写	一冊	二七五	三五五三	長谷寺靈驗記 上巻第二	貞成親王御筆	写	一卷	三六七	一三五八
後常瑜伽院御室永助法親王御記	紙背とも 永享四、五	一冊	二六二	五六五三	畠山日記 二	写	内冊の	三〇一	六二	五〇七
野宮定功国事私記 一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇	寛政八写 柳原紀光	一冊	二六二	一〇九八	八代集てには	写	一冊	二六六	二一	五三四
野宮定功日記 別記共 二四、三三、三五、三六、四二、四三、四八、五一、六〇	自筆	内冊の 三冊	二七〇	二〇九八	花園院御文類 文保元、二、元亨四(三通)	宸筆等	一卷	伏	七五六	九五四
拝賀着陣直衣始等部類 柳原紀光	寛政九写	一冊	三〇一	四八五八	浜松中納言物語 御消息、御願文案等	江戸写	二冊	一四三	二二七	五三〇
配所残筆 合綴 江戸百化物 山鹿素行	写	一冊	二〇一	三八五三	浜松中納言物語 首巻、卷五欠	江戸写	四冊	三二八	三〇一	五三三
白氏文集 七二巻 唐白居易 那波道円校	元和四木活 (補写)	一冊	五二七	一八〇六	浜まつの中納言物語 首巻、卷五欠	江戸写	四冊	一一二	三二二	五三六
新白鹿洞書院志 一二巻 明周偉 載策猷等校	明万曆二〇版	八冊	四〇二	四一四三	準人関係文書 準人司領并行奉召、準人消息 行幸召諸國準人宣旨	南北朝室町 原本写本	内冊の 三巻	F九 八六	四五	五〇七
橋本家公私祝祭日拝賀次第 明治 付祭日表	写	一冊	八〇三	一五五三	春除目抄 中夜 一名五巻秘抄	江戸写	一冊	二八六	一四	五三三
橋本家代々公事参任年譜 文永六、慶応三	写	一冊	九六二	六一五三	晴富卿記 小槻晴富	自筆	一巻	F九 一一二	一四六	五三三
橋本家賄帳 明治一〇、一七	明治一〇、一七写	五冊	九六九	一九九三	番外雜書総目 一七巻 古賀燈	自筆	一冊	二〇二	八〇	五三三
橋本実麗参議拝賀次第並列書 安政五 橋本実麗	自筆	一冊	七〇〇	九五三〇	万機井蛙 七四 音楽奏事之事 鷹司政通	写	内冊の 一冊	七一九	二二	五三三
橋本実民深曾木次第	写	一冊	九〇七	八五三六	半臂図集	写	一冊	二〇九	一四	五三三
橋本実久院伝奏備忘 天保七	橋本家写	一冊	七六五	二六五三	新架万宝全書 三四巻 明徐企龍	明万曆版	八冊	一〇六	四七	五三七
橋本実松詠草	自筆	一冊	九八三	三九五三	檜扇図 藤井調進	文政一写 松岡辰方	一卷	B六 三六二	四	五三三
					秘記三巻書	写	三冊	二六六	五八	五三六
					秘書類纂 外交七 伊藤博文	大正一三、昭五写 タイプ	内冊の 六冊	七七八	一八三	五三〇

秘藏抄 合綴秘説	江戸写	一冊	一〇二〇	七三	五三六	風香調撥合 大常博士楊真操	弘安九写 西園寺実兼	一冊	九七四	五二九
筆道	寛文八写	一冊	二七〇	七二	五三三	風香調撥合 大常博士楊真操	貞成親王御筆 文安四	一冊	九七五	四二九
秀吉時代分限帳	写	一冊	二七一〇	一九	五七	風俗譜 琵琶 一名三五要録 卷第三	邦永親王御筆 正徳四	一冊	八五九	二〇五二七
秘伝天爾波抄 合綴 飛鳥井家題詠大意	加茂胡子写	一冊	四三八	三八	五三三	深曾木次第 寛永一九・六・一六	原本	一枚	七二〇	四五四〇
日野家一門之事備忘草 日野資矩	自筆	一冊	二六五	二〇八	五三三	舞妓装絵形	写	四枚	一六	五三三
日野資矩詠草 付資矩宛忠良書状(二通)	自筆	一冊	二六五	一五	五三三	附武士送翰抄 安政元〜慶応三	大正一一〜一三写	三冊	二四八	二五〇五三六
日野資矩詠草	自筆	一冊	二六五	七六	五三三	伏見院御文類 (正応五〜文保元)	宸筆等	五卷	七五三	七九五四一
百首和歌集成 日野資矩	自筆	一冊	二六五	七二	五三三	伏見宮記録文書 (第八四冊の内)	明治写	一冊	二四〇	二三五〇七
百官仮真愚抄	写	一冊	三九五〇	九二	五九六	伏見宮家御系図	江戸写	一卷	六五五	四五四〇
百官知秘鈔 船橋家伝	江戸写	一冊	四九〇六	三九	五九六	伏見宮家代代親王宣下元服類聚付元服祝文	原本写本	六冊	六四〇	一〇九五三
平緒組法伝書 高倉家	江戸写	一卷	九八五	七	五三三	伏見宮家代代宣旨位記等写	貞成〜貞愛親王 明治写	一冊	三四二	一一三五三六
平緒繡文 柳原紀光	自筆	一冊	一四一	一九	五三〇	伏見宮御記録類目録	写	一冊	一九七	五四五三〇
平緒事 九条殿 付古平緒織糸	写	四枚	二六五	五	五三三	伏見宮藏書目録	写	三冊	一八九	一七九五三〇
平緒之事	原在明等写	一冊	三五六	五二	五三三	伏見宮代々位記宣旨類 文安〜慶応 貞成〜邦家親王	原本写本	一六卷	七九七	二四九五九
平緒之図	原在明等写	一冊	三五六	三一	五三三	賦物連歌 第一四冊	原本写本	七通	四五六	六〇五四六
平座小除目部類 実朝御記公秀公記 薩成記 付洞院家平座次第小除目次第	写	一冊	三七八	四二	五八五	藤原政行兼任防鳴河判官宣下文書文明一六	原本写本	一綴	一三二	三五九〇
弘資卿記別記 寛永二〇 後光明天皇御即位記 日野弘資	寛永二〇 自筆	二冊	柳三	一〇四	五三三	仏海晴堂禪師語録	宋版	二冊	五六六	八一五三三
広幡家玉佩図	写	一卷	B六 三四一	四	五三三	仏眼語録 二卷 付塔銘 善悟編	「金地院」印 宋版	二冊	五六六	一七七五三三
琵琶絃縫作法	伝光殿天皇宸筆	一卷	九七二	四	五三三	不動智 釈宗彰	写	一冊	三〇六	一五五六七
琵琶懐中秘譜	江戸写	一冊	五九一	八二	五三三	平家物語 長門本系	弘化二写 (有校)	一冊	二〇六	八七一九
琵琶御譜	江戸写	一冊	三九七	一四	五三三	平座次第抄 洞院本	江戸写	一冊	二八二	三三三
琵琶作法口伝聞書	江戸初期写	一冊	八二九	一五	五三三	弁官叙位勘例 養老四〜永禄一一	永禄九写(有補写) 万里小路惟房	一冊	二六二	七一五三三
琵琶秘説口伝	写	一冊	八六三	四七	五三三	弁官至要抄 付宜治伝 広橋兼秀	日野輝光補写	一冊	三〇二	三一五三六

片玉集	卷六三 きぬ川のこと葉	原本(補写)	一冊	四五八	三〇八六	末利支提婆華鬘經	唐不空訳	鎌倉写	一卷	五二二	一四三三六
返風香調撥合		貞常親王御筆 文正元	一卷	伏九七六	五五二九	鞠之触折紙	寛永八 於八条宮御亭	寛永八写 飛鳥井雅宣	一冊	桂一五八	九五〇〇
宝冠図		文化三写(彩色) 松岡辰方	一鋪	二〇九	三五三二	万秋楽	永和五 伯俊寫注進	正和三興書 元亨二加筆	一卷	伏九〇	九五二九
宝鏡寺中大慈院伝系略記		昭和八写 (宝鏡寺本)	一冊	九六	一二五三九	万秋楽説々	永和五 伯俊寫注進	自筆	一卷	伏九一	六五二九
宝鏡寺宮理秀女王書状	合綴 登華院百聖册内親王書状	原本	一冊	三三三	二七五三九	満基公記	応永九・一〇・一一 抄出(裏)消息類	三条西公条写	一冊	二六三	九七五三六
宝鏡大慈歴代往員事蹟	明治一七・一二 太政官歴史課宛	東坊城周筠 昭和八写	一冊	一六一	一〇五三九	御堂撰政記抄	長徳四、寛弘五(有欠) 抄出(裏)消息類	柳原光愛等写	二冊	柳一三八	六三八
重茅山志	一五卷 元劉大彬 首後各一卷(後)明江永年	明嘉靖二九版	四冊	四五八	三七六五三	御堂撰政別記	寛弘四、寛仁二、応徳三 藤原道長	明治五写	一冊	柳一一五	二〇五三三
蓬來山考	合綴 常世国考 西田直茂	写	一冊	一六四	一六五七〇	妙法蓮華経	提婆遺多品第一二 綴紙金泥一五行	奈良良写 伝菅原道真筆	一卷	五〇三	五三六
木曲深秘	啄木調譜	室町写	一卷	一〇二七	六五二九	名目鈔	洞院実照 昭和三〇模写(東山御文原本)	書院部	一冊	六〇三	三八五〇五
北澗外集	宋 釈大観	宋 淳祐版(補写)	一冊	一五五	六八五三三	未練抄	関東六波羅御沙汰之次第書 一名沙汰未練書	北条時宗	一冊	四〇二	二六五六一
北澗語録	宋 釈大観	宋版(補写)	一冊	一五五	八八五三三	宗賢卿記	享徳元、文明二(有欠) (裏)消息類	室町写	三冊	二四七	三〇三
法性寺殿御手本	藤原忠通書	江戸写 (双鉤填墨)	一卷	C八	三五二〇	室町殿足利義満直衣始記	康暦二・正・二〇 (裏)消息類	室町写	一冊	二六一	一七五二六
堀河院百首	首尾欠 藤原公実等	室町写	一冊	四二五	七一五五	明月記抄出	(裏)消息類 藤原定家	室町写	一冊	二九七	八六五五
本草衍義	二〇卷 宋 寇宗奭 目一卷 寇約校	宋 慶元元版	三冊	四〇九	一五三三〇	明治天皇大喪録	大正元、二 諸陵寮出張所	大正一三写	一冊	九九一	一九三〇七
每朝神拜詞	鹿持雅澄	自筆	一冊	一四〇五	六五三三	明正天皇御装束一具色目	寛永七	江戸写	一枚	一五四	一五三三
摩訶僧祇律	卷二二 東晋 仏陀跋陀羅共法願訳	平安写 伝行基筆	一卷	五〇三	三五三六	明題部類抄	七卷	伝御子左為重写	一冊	五〇九	二二三
槇尾寺本縁起	延暦一八・一〇・五 釈 如空等注	鎌倉写	一卷	三六八	五五三六	孟子 宋 朱熹		元 延祐元版	三冊	一四三	一三四
雅亮装束抄	上下 源雅亮	写	二冊	三四六	九九五三六	裳絵様	藤井土佐調達	写	一卷	B七	三五三
雅久卿記	文明八、一、延徳二 文徳二、三、年末詳	自筆	四卷	F九	三二九五〇	物具装束抄		写	一冊	伏二四	一九五三
松下絵た、う紙		写	一枚	一六七	二五三三	守光公記	下(裏)消息、詠草など 廣橋守光	自筆	三冊の内	四三五	九〇五三
松浦宮物語		江戸写	三冊	一五四	一二八五〇	文殊尸利菩薩行経	隋 闍那崛多訳 美福門院経	平安写 紺紙金泥 伝小野道風筆	一卷	五九〇	一〇五三六
政書類記	永長二、保安三 一名中右記部類	藤原宗忠	一冊	三二七	二九五六	紋様雑集		江戸写	一卷	C八	三三五三

康富記	寶徳二・五、六抄出 （裏）消息類	中原康富	三永正三写 三条西実隆	一冊	二六八	四七 五八	職仁親王手仁遠波並三部抄相伝切紙家仁親王宛御筆	五枚	一〇五七	九 五三三
穩仁親王御元服次第	付指図 明暦元 一名八条宮御元服次第	江戸写	一冊	伏六三八	九 五三三	礼服図	写（彩色）	一帖	二〇九	一六 五三三
柳原均光日記	卷四〇 天明四〇（享和四）有欠	柳原均光 自筆	内冊の一枚	伏一五〇	一七八 五二〇	礼服図	写（彩色）	一帖	八五六	九 五三三
野府記	寛弘八・正 一名小右記 （裏）消息類	室町写	一冊	二四一五	一八 五三〇	礼服文様	文政四写（彩色） 加藤正之	一卷	五〇〇	一七 五三〇
野府記	天元五〇長元五抄出（有欠） （裏）消息類	室町写	二冊	二四一五	二〇四 五三〇	立太子次第	写	一卷	B七 四五六	三 五三三
山路の露		江戸写	一冊	三三三	四九 五三二	留靈書屋儲藏志	写	一冊	土 五	二八 五三三
山路の露		室町写	一冊	五〇八	八一 五〇五	諒闇方之記	一名笹坂儲藏志稿 吉田聖敏	一冊	二七五	一〇 五〇九
大和草紙	延享五	江戸写	一冊	二八七	一四二 五三三	陵墓に関する達布告拔萃	延享六〇元禄九 明治一四〇一七 大正一二、一三 （足立男爵、京都府庁本）	一冊	二七五	九 五〇九
大和国行幸一会記	文久三 平田職修	自筆	一冊	一六八	四〇 五七三	臨時公事次第	首尾欠	一冊	伏 四八	四一 五三三
大和国諸陵	安政二 中条良藏等	大正一二写 （谷森家本）	一冊	八六八	一四三 五三六	類聚国史	残欠 一九〇 菅原道真等	一冊	二四八	一一四 五〇三
游宦紀聞	一〇卷（有落丁） 宋 張世南	宋版	二冊	四〇三	一〇五 五三三	類聚国史	卷八〇一八〇（中欠） 菅原道真等	三冊	二五八	二二 五七〇
陽光院御文類	御消息 誠仁親王	御筆	一四枚	七九一	五三 五三六	涙松集	吉田矩方（松陰） 合綴 留靈録	一冊	伏 九一	四四四 五三三
義貞軍記		慶安五版	一冊	一五〇九	一一九 五三三	類題和歌		四冊	一八七	一四 五三三
義貞軍記		慶安五版	一冊	三二七	三〇 五八五	靈元天皇宸翰御消息	右大弁宰相宛 右中弁宛	一冊	一五八	三一五 五二八
義隆実隆問答条々	一名逍遙公問答 付 実隆臨筆古文書 多々良問答	慶安五版	一冊	三二七	三〇 五八五	靈元天皇宸翰御消息	右大弁宰相宛 右中弁宛	二卷	三六四	一四一 五二〇
吉田家日記	貞治五〇応永一〇	大内義隆問 三条西実隆答 江戸写	一冊	三〇六	二四 五三三	歴代皇紀	神代〇後土御門天皇 洞院公賢	一冊	特 一一	八 五三三
四辻家所伝衣紋図		明治写	五冊	二五六	六八一 五三六	歴代天皇立親王並立太子例	醍醐〇崇光天皇	六冊	五〇〇	三一八 五〇二
四辻家所伝衣紋図（三葉）		写	一卷	B七 四〇八	四 五三三	聯灯会要	三〇卷 宋 釈 悟明	一枚	伏 二六	六 五三〇
よや抄	一名 連歌いろは新式	江戸写	一折	九二〇六	三 五三三	老中会釈大概	寛永二	二冊	五〇六	八九五 五三三
頼業記	治承四 即位 清原頼業	弘化四写	一冊	F九 一四七	一八 五三三	六調子曲譜	和琴	一冊	九〇〇	四九 五三六

六調子曲譜 和琴 写 一冊 九三二 二二 五四六 (貴重書複製目録)

六調子曲譜 和琴 江戸写 一巻 三〇四 一九 五四七

六調子曲譜 和琴 江戸写 一冊 五〇一 三四 五四七

六波羅密寺縁起 三善為康 鎌倉写 一巻 九二九 一四 五六一

阿野実顯等歌道消息
足利義政御教書

和歌極秘伝抄 元禄一四版 一冊 應四 五四 五三四

和歌色葉集 下(残欠) 积上覚 康正三写 一冊 一七六 五七 四九九

和歌天爾遠波三伝 和歌天爾遠波説 手爾葉大概抄 日野弘資卿切紙など 應司政通写 一冊 一〇四 二七 五三三

和歌秘伝聞書 写 一冊 一五四 二一 五三三

和歌秘伝抄 一名和歌庭訓抄 二条為世 明和八版 一冊 應二五 二四 五三四

和歌秘伝条々 安政三写 一冊 一二九 三四 五三四

和歌秘伝別抄 應司政通等写 一冊 二六六 五二 五三九

我身にたとる姫君 江戸写 八冊 四五九 二五 五四二

若宮御元服次第 江戸写 一巻 六三九 八 五三九

和琴調愚考草 應司政通 自筆 一冊 九五六 二〇 五四六

和琴調絃法 江戸写 一巻 二八二 五 五四七

和琴調子秘譜 文政七写 一冊 七八一 一一 五四八

和琴之譜 写 一冊 五八九 四一 五四八

和琴譜 文政八写 一帖 九二六 一八 五四六

和琴譜 應司政通 一帖 九二六 一八 五四六

和琴譜 江戸写 二帖 二〇一 六六 五四七

和琴譜 元版 一冊 一四〇 三三 五三六

大平 和剂局方 第二冊 宋 陳師文等 許洪註

堯空消息

一冊 桂 一〇一 三四七

京極宮草の庵秋之発句

一冊 桂 一五一 五〇九

京極宮かやの庵月の十五句

一冊 桂 八七 五〇六

北野社一万句御発句脇第三次第并序

一冊 桂 九五三 五〇六

歌林良材集拔書

一冊 桂 一二九 五〇七

鞆鼓譜

一冊 伏 二九七 四三三

各調絃合図解入

一冊 伏 二九九 四三三

改元部類記

一冊 四一四 三三六

奥入

一冊 四〇二 五二三

大坂城々攻めの事

一冊 桂 二九 八二六

延嘉愚曆

六冊 桂 四一七 三四元

詠歌大概抄

一冊 四九〇 五〇三

永嘉真学大師証道歌

一冊 五五六 四八二

宇佐大神宮縁起

一冊 三六三 八七

伊勢物語系図

一冊 五〇二 五〇三

伊勢物語

一冊 六五一 五〇四

足利義藤願文

一冊 二六 三六〇

足利義政御教書

一冊 土 二二八 三五六

(複製本)

(函号)

(請求番号)

禁裏番衆所日記	三冊	柳一七四	三三三	源氏物語不審条々	一冊	五〇二	五〇六
禁裏番衆所日記	八冊	柳一七五	三三三	源氏物語目錄	一冊	桂一〇四	一六九〇
禁裏番衆所日記	一〇冊	柳一七九	三四四	源氏物語目錄	一冊	桂一〇七	一六九一
九条兼晴詠草幅	一冊	九〇七	五八〇	源氏物語説曲清濁	一冊	桂二〇五	五七四
九条兼晴筆古歌幅	一冊	九〇八	五八一	源氏和秘抄	一冊	五〇二	五二一
九条輔実懷紙詠草幅	一冊	九〇九	五八三	光格天皇和歌御懷紙幅	一冊	五〇九	一四四四
九条忠栄述懷詠草幅	一冊	九〇六	五七九	光明峰寺入道撰政家歌合	一冊	五〇一	五〇九
九条種通詠草幅	一冊	九〇四	五七七	後柏原天皇宸筆朗詠御色紙幅	一冊	五〇九	一四四五
九条種通詠草幅	一冊	九〇五	五七八	古語拾遺	一冊	五五八	一四四八
九条道家消息幅	一冊	九〇三	五五一	後深草天皇宸筆御消息	一冊	特二五	一四三七
桂光院追悼写經奥書写	一冊	桂一〇三	六〇〇	狛氏打物譜	一冊	伏二九六	四三六
桂光院追悼和歌稿	一冊	桂八四四	四八〇	惟通公記	二〇冊	四一四	三四五六
桂光院智仁親王哀悼和歌	一冊	桂八〇六	四七九	実隆公消息	一冊	桂二五八	三三三
源語秘訣	一冊	五〇二	五二五	三十六人歌仙色紙幅	一冊	九〇〇	五八三
源氏絵之詞拔書	一冊	三五三	五〇九	三条西実枝改名款状	一冊	桂二四七	三三四
源氏撮要抄	一冊	五〇二	五二七	三部抄	一冊	九五八	五〇七
源氏談義	一冊	四五二	五二〇	山谷詩集	四冊	五〇八	四四七九
源氏物語	三二冊	五五八	五〇六	下草	一冊	一〇三	五〇九
源氏物語	二八冊	五五七	五〇七	紫明鈔	五冊	五〇二	五〇八
源氏物語釈	一冊	一四七	五〇四	釈日本紀	一四冊	谷三六	九四七
源氏物語抄	一冊	五〇二	五〇九	十九史略通考	一四冊	三五六	四七七
源氏物語年立	一冊	五〇二	五二三	十二律隆淵注進并琵琶柱事	一冊	伏二八八	四三〇

十八史略	七冊	五五六	四七六	珍彙類	一冊	伏二〇二	四二五
小学集説	二冊	五五六	四九三	手撥合伝授状	一冊	伏二〇三	四三六
証歌之留	一冊	桂九六	五〇三	唐音	九冊	四四三	四六一
称名院合点月次会和歌	一冊	桂二三四	五〇七	洞院実熙消息	一冊	桂二五六	三三三
昌黎先生文集	一〇冊	一四〇	四七六	東宮御会天満宮御法案和歌	一冊	桂一一一	五〇五
貞曆	四四冊	四一四	三三三	当座両吟詠草留	一冊	桂七六	五〇三
朱子語録	三冊	一八八	四六一	東坡先生詩	一四冊	四〇四	四九二
諸徳三礼	一冊	四一六	三三三	徳川秀忠書状	一冊	土一三〇	五六一
白川家日記	二五冊	四一四	三三三	智忠親王宛仙洞御所女房消息	一冊	桂二九〇	三三〇
詞林三知抄	一冊	四八四	五〇八	智忠親王詠北野天満天神奉和十五首和歌	一冊	桂一〇七	五〇八
新撰楽譜	一冊	伏二〇〇	四二四	智忠親王詠五首和歌	一冊	桂一〇七	五〇六
新百人一首	一冊	四四七	五〇七	智忠親王詠五首和歌	一冊	桂一〇八	五〇六
新百人一首	一冊	一四一	五〇七	智忠親王詠五首和歌	一冊	桂一〇九	五〇七
蜻菴消息	一冊	四二七	五〇八	智忠親王詠御著到和歌	一冊	桂一〇五	五〇六
蜻菴消息	三冊	八〇〇	三三四	智忠親王詠御著到和歌	一冊	桂一〇五	五〇六
仙洞御会御月次雪十首和歌	一冊	桂二〇〇	五〇八	智忠親王詠三十首和歌	一冊	桂一〇〇	五〇九
宋世詠百首和歌写	一冊	桂二二九	五〇七	智忠親王詠三十首和歌	一冊	桂一〇三	五〇八
太鼓譜	一冊	伏二九五	四三二	智忠親王詠三十首和歌	一冊	桂一〇六	五〇三
内裏百首統歌	一冊	五五八	五〇六	智忠親王詠十首和歌	一冊	桂二〇六	五〇三
煙草説	一冊	桂八二	五〇六	智忠親王詠草	一九冊	桂	五〇八
長秋詠藻	一冊	桂一〇三	五二四	智忠親王詠草	一冊	桂七	五〇八
重陽詠九首外御歌之留	一冊	桂五一	五〇九	智忠親王詠草	一冊	桂二〇二	五〇八
	一冊	桂一〇	五〇四	智忠親王詠草小短冊集	一冊	桂九	五〇五

智忠親王詠著到和歌	一冊	桂 一〇〇一	五〇六〇	風俗歌譜	一冊	伏 二〇四	四二七
智忠親王詠百首和歌	一冊	桂 一〇〇四	五〇六四	賦物連歌	一冊	三五三	五〇九三
智忠親王禁裏御會詠進懷紙留	一冊	桂 八一〇	五〇五六	藤原忠通消息幅	一冊	九〇〇	五〇九二
智忠親王消息案	一冊	桂 一〇七五	三三四八	藤原忠通書狀	一冊	一三三	五〇九三
智忠親王消息案文等	一冊	桂 八〇四	三三五	夫木拔書	四冊	三五三	五〇九五
智忠親王等点取詠十首和歌	一冊	桂 一〇七四	四〇八一	通兄公記	一冊	四一四	三三四九
智忠親王中院通村等歌道消息	一冊	桂 二八六	三三九	通兄公記	三冊	四一四	三三四〇
智仁親王筆富士山圖	一冊	桂 一〇八一	一六九三	通誠公記	二冊	四二四	三三四八
尚仁親王詠御月次和歌御會懷紙之留	一冊	桂 八〇九	五〇七一	名所和歌抄	一冊	三五三	五〇八八
中院通村書狀	一冊	四 四二三	三三五六	孟子諺解	五冊	四〇一	四六二〇
中院也足軒詠	一冊	桂 一〇一九	五〇八二	家仁親王御日記	四冊	一五八	三三四三
中院也足軒消息	一冊	桂 二〇	三三四三	家仁親王御記	二冊	桂 一六五	三三四二
中院也足軒消息	一冊	桂 一〇四三	三三四四	穩仁親王詠草	三冊	桂 一三	五〇九
二条亭行幸和歌御會懷紙之留	一冊	桂 八〇八	五〇七〇	幸家公記	四冊	五九	三三四一
新田義興書狀	一冊	土 二二五	五〇三	好仁親王詠桂光院四十九日追悼歌	一冊	桂 二〇三	四〇七八
入道大納言資賢集	一冊	五〇一	五二〇〇	良恕親王詠東下和歌	一冊	桂 二六三	五〇九
年代略記	一冊	谷 一〇	九六	類題十四首和歌	一冊	桂 二五	五〇九
梅溪先生文集	一〇冊	五五五	一〇九三	靈元天皇宸筆和歌御色紙幅	一冊	五〇九	一四三三
八条宮御双紙目錄	一冊	桂 一〇八	一六九二	朗詠抄	二冊	一五〇	五〇一
八条宮亭連歌	一冊	桂 二二五	五〇七五	六歌仙并新六歌仙和歌	一冊	桂 二六〇	五〇七六
東山天皇和歌御懷紙幅	一冊	五〇九	一四五六	論語	五冊	五〇六	四五六〇
百五十番歌合	一冊	六四九	五〇九六	和漢連句	一冊	三五三	五〇九二

